

「#わたしの休日ログ展」を開催します！

誰もが気軽に参加できる写真展として「#わたしの休日ログ展」を開催します。地域の皆さんが休日に撮影した写真をご応募ください。ご応募いただいた写真は、2月に秋津公民館で開催される「あきづ文化祭」で展示し、優秀作品には記念品を贈呈します。たくさんのご応募お待ちしております。

【募集内容】 休日に携帯電話（スマートフォン・ガラケーなど）のカメラで撮影した写真
※本格的なカメラ（一眼レフ・ミラーレス）などで撮影した写真は不可

【応募資格】 田辺市在住・在勤・在学の方（年齢不問）

【募集期間】 令和8年2月13日（金）まで

【作品部門】
【推し活部門】 ライブ・イベントの様子、グッズとの写真、聖地巡礼で訪れた場所の写真など
【グルメ部門】 お気に入りの飲食店の料理、手作りごはんやお菓子、旅行先の名物料理など
【自然・風景部門】 季節を感じる自然の景色、散歩中に見つけた美しい瞬間、旅行先での風景など
【家族・ペット部門】 家族との日常の一コマ、子どもの成長の記録、ペットの可愛い仕草や表情など
【趣味・フリー部門】 手芸・スポーツ・コレクションなど趣味の写真、その他自由なテーマの写真全般

【応募方法】 右上の二次元コードを読み取ってLogoフォームにアクセスし、必要項目を入力の上、写真データを添付して送信してください。※応募規定を必ずご確認ください

【展 示】 【日時】 令和8年2月21日（土）9時～17時・2月22日（日）9時～15時 【場所】 秋津公民館 2階 大会議室

【表 彰】 優秀作品は来場者投票で決定し、入賞者には記念品を贈呈します。

【問 合 せ】 田辺市中央公民館（生涯学習課 公民館係） 担当：橘・大木 TEL：0739-26-4908



応募フォーム

稲成公民館だより

令和8年1月号



【発 行】 稲成公民館

【館 長】 倉谷 修治 【主 事】 小倉 拓

【事務所】 田辺市東山一丁目5番1号（本庁舎5階）

【TEL】 26-4908 【FAX】 24-8323

【館区の人口と世帯数】（令和7年11月末 現在）

3,169人（男1,510人・女1,659人） 1,550世帯

「無用の用」

稲成公民館長 倉谷 修治

新年あけましておめでとうございます！

2026年、令和8年、昭和101年目のお正月。皆さまはどのようなお正月を迎えられているのでしょうか？年の初めにはいつも「どうぞ、今年一年良い年でありますように。」と願っているのですが、1年365日、穏やかな日もあればそうでない日もあり、なかなか1年通して思い通りにはなりません。けれど、大難を小難に自分次第で変えることができるかも？です。皆さまにとって1日でも多くの良き日がありますように、改めまして今年も1年お付き合いの程よろしく願いいたします。

さて、話は変わって昨年12月8日、ストックホルムで開かれた「ノーベル賞記念講演」に日本から坂口さん、北川さんの2名が出席され、坂口さんは免疫系のバランスを保つために重要な免疫細胞である「制御性T細胞」について、制御性T細胞の働きをコントロールすることで自己免疫疾患やアレルギーの治療、臓器移植の安全性を高めることにつながるだろうと講演されました。また、北川さんは自身が開発した「多孔性金属錯体」について、スライドを用いながら多孔性金属錯体の穴（実はこの穴のせいですぐに壊れてしまい役に立たないという常識がありました）には地球温暖化をもたらす二酸化炭素を吸着させ回収したり、大気中の水蒸気を取り込んで砂漠に水を得たりすることができ、私たちが今直面している環境問題の解決に役立つ画期的な材料になりえることを講演されました。役に立たないという常識を覆したのには、役に立たないように見えるものにこそ、大事な役割があると説いた「荘子」の「無用の用」があったからだ。この世に無用なものなど一つもないのだ！

話は変わって、先月、公民館では社会見学と題して「京の年中行事 吉例顔見世興行」に行っていました。少しだけ紙面をお借りして紹介いたします。「月の精（兎）」が杵をもって、臼で餅をつく所作から始まり、かちかち山の狸を退治するという歌舞伎・日本舞踊の演目「玉兎」を、襲名披露狂言として六代目菊之助が踊りました。11歳と言う若さで襲名された菊之助に父である八代目菊五郎は「生命の輝きや初々しさは10代でしか出せないもの、長い人生の中での輝きを大事にし、努めてもらいたいと思う。」と述べられており、演じるその所作の愛らしさに思わず微笑んでしまいました。また、八代目菊五郎が演じられた「鷺娘」は、映画「国宝」の中で吉沢亮さんも演じておられましたが、京都南座の舞台で雪が降りしきの中で舞う菊五郎の鷺娘は圧巻そのものでした。慌ただしい師走の中での1日。今まで我が人生で経験したことのない、日本の伝統を垣間見る時間を与えていただいたことに感謝しきりの一日でした。今回参加できなかった方も、次回は是非参加をされてみてはいかがでしょうか。人生には非日常な時間も大切だと……

少人数で、ゆっくり学べる！ スマホの使い方教室

公民館の無料講座で
スマホの使い方を
楽しく学びましょう♪

【会 場】 稲成公民館 2階 研修室

【日時・内容】 1月23日（金）午前10時～（1時間程度）・スマホ基本編
1月23日（金）午後 1 時～（1時間程度）・LINE（ライン）基本編
2月13日（金）午前10時～（1時間程度）・スマホ基本編Ⅱ

※申し込み状況によっては講座内容が変更となる場合があります。
※講座中にご自身のスマホで通信した際の通信料は自己負担となります。

【定 員 等】 各回6人（先着順）

【申込方法】 下記の申込先へ、氏名・住所・電話番号・スマホの機種（わかれば）
をご連絡ください。

【申込・問い合わせ先】

稲成公民館（生涯学習課）

☎0739-26-4908



新年のご挨拶 稲成町内会長

新年あけましておめでとうございます。

稲成町内にお住まいの皆さまにはご健勝でお過ごしのことと存じ上げ、日ごろ町内会活動にご協力、ご支援をいただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

さて、NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の主題歌にあります「毎日難儀なことばかり」のように、昨年は激動の一年でありました。そうした中、日本では初めての女性首相が誕生しました。国内外ともにさまざまなことが起こっていますが、ぜひ日本の将来のために頑張っていたきたいと思います。

私たちの稲成町内会も何とか皆様の要望をかなえるために日々努力していますが、人口も急激に減ってきている上、町内にあった青年団・婦人会・老人会は解散、またその他の団体も段々と弱くなっています。唯一残っているのが町内会ということで、皆様のいろいろな要望を実現するため、今まで以上に耳・目を開いて課題に取り組みたいと思います。

課題を解決するためには、稲成町内会を中心として意見を集約し、行政に対して要望していくことが何にも増して大事だと思います。個人が色々意見があることは民主主義の良いところではありますが、その意見がバラバラでは力になりません。私の町内会長としての経験上、住民の皆様が直接行政に色々要望や陳情をしても、必ず行政から町内会へそれらに対する意見を求めてきます。

このことから、ご要望がある場合はまず町内会へご相談いただく方が結果が早く出る場合があります。そして町内会として協力して実施することが地域の皆様にとって安全・安心のまちづくりとなります。

今年一年も稲成町のため頑張っていきますので、ご協力、ご支援の程よろしく申し上げます。



令和8年1月

稲成町内会長

山田 能久

年末年始の閉庁・閉館について

田辺市役所は、12月27日(土)から1月4日(日)までの間、閉庁となります。

稲成公民館は、12月29日(月)から1月3日(土)までの間、閉館となります。

貸館の予約等につきましては、ご注意ください。

新年のご挨拶 むつみ町内会長

あけましておめでとうございます。

むつみ町内会の会長を引き受けて2度目の新年を迎えることになりました。昨年も記したのですが、私自身が町内会の活動には関わった経験がほぼない中での就任でしたので、どこまで十分な活動ができたのかと、振り返っています。

さて11月の半ばのことですが、こんなことがありました。夕刻、6時前のことでしたが、紀伊民報社から、電話をいただきました。「町内のご高齢のご夫婦のお宅に配達をしている配達員から、新聞が何日か分たまっている」というご連絡でした。町内会では各班の班長さんに福祉委員も兼ねていただいているので、翌朝、班長さんに連絡をすると早速様子を見に行っていただき、ご無事であることを確認いたしました。

その何日か後、大分の大火事が起こりました。テレビの情報番組では、「命を救った住民の絆」というタイトルで、高齢の方々の避難に自治のつながりがあったと放送していました。番組のインタビューでは「班長さんが言いに来てくれた」「区長さんが伝えに来てくれた」「(避難しないという高齢の方もいたが)みんなで声をかけあった」などという声を紹介していました。足の不自由な方を住民の方々が助けながら避難している様子も報道されていました。そういった映像などを見るにつけて、町内でも高齢化が進んでいる中では、将来、必ずやって来る震災に対する備え、防災、子ども会活動など、地域に住む人々の連携が重要なことは言うまでもなく、住環境の整備やコミュニティの形成など、町内会の果たす役割は小さくはないと考えております。

ただ、むつみ町内は、高齢化や自治会に対する考え方の変化などもあり、活動に参加していただけない方も一定数おられます。私がむつみ町内に移り住んだ45年ほど前には、町内の商店を中心としたコミュニティも機能していましたが、住民の高齢化などで、いつしかなくなってしまいました。時の変化かなとも思いますが、今一度、地域の活動の大切さを認識するときだと思います。

昨年からは、コロナ騒ぎで中止していた敬老会、子ども会のクリスマス会などの行事も、再開することができています。防災パトロールは今年度も11月から月に一度行っていますし、9月に開催された稲成むつみのソフトボール大会では、見事に優勝しています。

さらに多くの方々が、町内会の活動にご理解、ご参加をいただきますことをお願いして、新年のご挨拶にかえさせていただきます。



令和8年1月

むつみ町内会長

森脇 崇